

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成20年7月3日(2008.7.3)

【公表番号】特表2004-536128(P2004-536128A)

【公表日】平成16年12月2日(2004.12.2)

【年通号数】公開・登録公報2004-047

【出願番号】特願2003-513583(P2003-513583)

【国際特許分類】

C 0 7 K 7/06 (2006.01)

A 6 1 K 31/138 (2006.01)

A 6 1 K 47/26 (2006.01)

A 6 1 P 15/00 (2006.01)

A 6 1 P 15/06 (2006.01)

A 6 1 P 15/18 (2006.01)

A 6 1 P 19/10 (2006.01)

A 6 1 P 21/04 (2006.01)

A 6 1 P 29/00 (2006.01)

A 6 1 P 35/00 (2006.01)

A 6 1 P 37/06 (2006.01)

C 0 7 K 7/08 (2006.01)

C 0 7 K 7/64 (2006.01)

C 0 7 K 14/47 (2006.01)

C 0 7 K 16/18 (2006.01)

C 0 7 K 19/00 (2006.01)

A 6 1 K 38/00 (2006.01)

A 6 1 K 51/00 (2006.01)

【 F I 】

C 0 7 K 7/06 Z N A

A 6 1 K 31/138

A 6 1 K 47/26

A 6 1 P 15/00

A 6 1 P 15/06

A 6 1 P 15/18

A 6 1 P 19/10

A 6 1 P 21/04

A 6 1 P 29/00 1 0 1

A 6 1 P 35/00

A 6 1 P 37/06

C 0 7 K 7/08

C 0 7 K 7/64

C 0 7 K 14/47

C 0 7 K 16/18

C 0 7 K 19/00

A 6 1 K 37/02

A 6 1 K 49/02 A

【手続補正書】

【提出日】平成20年5月12日(2008.5.12)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

8 ～ 20 アミノ酸長のペプチドであって、配列番号 6 を有する フェトプロテインの親水性アナログ：EMTPVNP G を含む、ペプチド。

【請求項 2】

前記ペプチドが、直鎖状である、請求項 1 に記載のペプチド。

【請求項 3】

前記ペプチド、環状である、請求項 1 に記載のペプチド。

【請求項 4】

前記アミノ酸の 1 つ以上が、(D) - アミノ酸である、請求項 1 に記載のペプチド。

【請求項 5】

以下：

配列番号 2：QMT PVNP G

配列番号 3：QMT PVNP GE

配列番号 4：EMTO VN OG

配列番号 5：EMTO VN OG Q

配列番号 7：EMTP VN PG Q

配列番号 8：EMTO VN PG

配列番号 9：EMTO VN PG Q

配列番号 10：EMTP VN OG および

配列番号 11：EMTP VN OG Q

からなる群より選択されるアミノ酸配列を含む、請求項 1 に記載のペプチドまたは該ペプチドのペプチド模倣体。

【請求項 6】

検出可能なマーカーで標識されている、請求項 1 に記載のペプチド。

【請求項 7】

前記検出可能なマーカーが放射標識である、請求項 6 に記載のペプチド。

【請求項 8】

前記放射標識が、放射標識されたさらなるアミノ酸である、請求項 7 に記載のペプチド。

【請求項 9】

請求項 1 に記載の 2 つのペプチドからなる、二量体ペプチド。

【請求項 10】

前記 2 つのペプチドが、配列番号 4 および配列番号 5 である、請求項 9 に記載の二量体ペプチド。

【請求項 11】

前記 2 つのペプチドが、配列番号 3 および配列番号 10 である、請求項 9 に記載の二量体ペプチド。

【請求項 12】

請求項 1 に記載 3 つ以上のペプチドからなる、多量体ペプチド。

【請求項 13】

請求項 1 に記載のペプチドおよび適切なキャリアを含む、組成物。

【請求項 14】

前記適切なキャリアが、安定化賦形剤を含む、請求項 13 に記載の組成物。

【請求項 15】

前記安定化賦形剤が、ドデシルマルトシドまたはマンニトールである、請求項 14 に記載の組成物。

## 【請求項 16】

請求項 1 に記載のペプチドに特異的に結合する抗体。

## 【請求項 17】

エストロゲンにより刺激される細胞増殖を低減するための組成物であって、  
請求項 1 に記載のペプチド  
を含む、組成物。

## 【請求項 18】

前記ペプチドに対する前記細胞の曝露の前、その間、またはその後に、タモキシフェンが  
該細胞にさらに曝露されることを特徴とする、請求項 17 に記載の組成物。

## 【請求項 19】

被験体において癌を処置または予防するための組成物であって、  
請求項 1 に記載のペプチド  
を含む、組成物。

## 【請求項 20】

前記癌が、エストロゲン依存性癌である、請求項 19 に記載の組成物。

## 【請求項 21】

前記エストロゲン依存性癌が、乳癌である、請求項 20 に記載の組成物。

## 【請求項 22】

前記被験体に対する前記ペプチドの投与の前、その間、またはその後に、前記被験体に適切な量のタモキシフェンがさらに投与されることを特徴とする、請求項 19 に記載の組成物。